

2018年

安全報告書



わたらせ渓谷鐵道株式会社

## 1. お客様をはじめ、地域の皆様へ

日頃からわたらせ渓谷鐵道をご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

当社は、多くの皆様に支えられながら、平成 31 年 3 月 29 日に開業 30 周年を迎えることができました。また、1 月には普通車両（表紙）として 5 両目となる待望の新車両も導入されました。

一方、公共交通機関としての重要な役割である安定的な運行体制・安全運行の維持については、29 年 5 月の列車脱線事故から 2 年を経過しましたが、この事故で得た教訓を決して忘れることなく、「事故を二度と起こさない」という強い意志を社内で共有し、一致協力して全力で輸送の安全確保に努めてまいります。このため社内の安全・危機管理体制の強化や安全指導、安全教育を徹底し、さらなる安全性の向上に社長以下全社員が一丸となって取り組んでまいりました。

設備については、一層の安全運行の確保のため、国の補助制度の活用と沿線自治体の支援により、車両の更新、マクラギの PC 化を含むマクラギ更新、レールの重軌条化等集中的な軌道整備、ケーブルの更新、踏切保安設備の耐雷化等を行い、軌道、信号保安設備等線路の保守管理体制を強化してまいりました。

この安全報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に則り、輸送の安全確保のための取組等を広くご理解いただくために公表するものです。皆さまに本報告書をご高覧いただき、当社の安全の向上のため、忌憚のないご意見ご感想をお聞かせくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

わたらせ渓谷鐵道株式会社  
代表取締役社長 樺澤 豊

## 2. 安全に関する基本方針

### (1) 基本方針

輸送の安全確保を図ることは、鉄道事業に携わる当社にとって重要な使命であり、会社経営の原点でもあります。この認識のもとに当社は、「安全で安心した輸送」を最重点項目とし、法令遵守と、危機管理体制を強化し、更なる安全性の向上を図るとともに、「連携と実績で果たす安全安定輸送」を事故防止活動のスローガンに、社長以下全社員で取り組んでまいります。

### (2) 安全目標

列車事故など大きな事故の絶滅

### (3) 重点実施項目

- ・事故防止管理体制の確立
- ・責任ある作業体制の強化
- ・計画的教育訓練の充実
- ・車両、設備の故障防止
- ・自主的な事故防止活動の育成努力

◆ 安全管理体制

安全管理体制については、社長の強力なリーダーシップのもと、機動性のある安全管理体制の確立を目指し、現場の情報を把握し、現場に対しフィードバックする体制を構築するため、安全統括管理者を軸とし各課長、運転管理者、施設管理者、車両管理者及び乗務員指導管理者が中心となり、事故防止活動の具体的な実施計画を立て、その実績状況を点検しながら推進し、定期的を開催する事故防止検討会議で問題を確認することにより、社員が問題意識を共有できる体制を構築する。

◆ 事故防止管理体制の確立

各管理者がリーダーシップを発揮し、担当者の責任分担を明確にしたうえ、事故防止活動の具体的な実施計画を立て、その状況を点検しながら推進していく体制を確立する。

◆ 車両、設備の故障防止

使用状態に応じた保守管理体制の強化を図るとともに、更新、修繕、重要部品の計画的取替を推進し、信頼性の向上を図る。

◆ 自主的な事故防止活動の推進

春・秋の全国交通安全運動、年末年始の輸送等に関する安全総点検にあわせ、また、必要な機会をとらえて事故防止検討会を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱等について意見交換や研修を行い、自主的な事故防止活動を積極的に推進します。

<事故防止検討会>



### 3. 輸送の安全を確保するための取り組み

安全対策については、列車脱線事故を教訓とし、「事故を二度と起こしてはならない」という強い意志を社内で共有し、安全運行に取り組んでまいりました。また、必要に応じ実施している事故防止検討会及び2か月毎に管理職会議を開催し、安全の再確認、事故事例の研究、車両故障や機器の取扱い等についても意見交換を行っています。

平成30年は、2020年の東京五輪・パラリンピックなど大規模な国際イベントに向けたサイバー攻撃対策の一環で、対処能力の向上と危機意識の醸成を図るため、桐生警察とサイバー攻撃共同対処訓練及びサイバー攻撃対策セミナーを受講しました。また、平成20年から参加しているJR東日本高崎支社総合復旧訓練、関東運輸局技術支援研修による鉄道他社で行われる研修会にも参加しました。

<サイバー攻撃共同対処訓練>



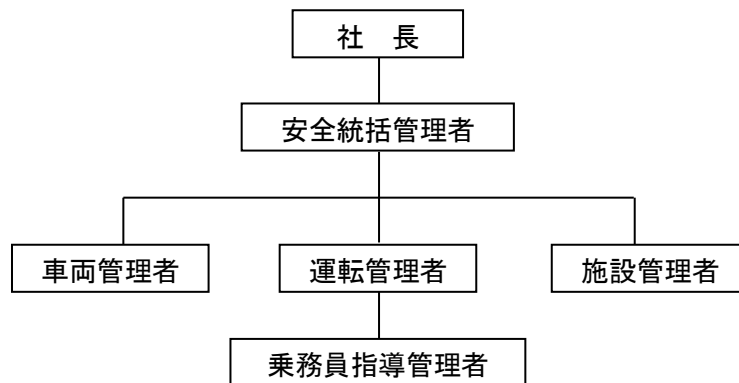
<JR東日本高崎支社総合復旧訓練>



#### 4. 当社の安全管理体制

安全管理規程を制定して、社長をトップとした安全組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。

代表取締役社長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	運転に関する事項を統括する。
施設管理者	軌道・施設に関する事項を統括する。
車両管理者	車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者	乗務員の資質の保持に関する事項を管理する。



#### 5. 運転事故・輸送障害の発生状況

年度別	運 転 事 故	輸送障害 (列車が30分以上遅れたもの)	
	衝突・脱線・踏切事故	設備・車両等の故障	雨などの自然災害
26	0	4	5
27	0	2	7
28	1	3	5
29	1	4	3
30	0	4	6

平成30年度の運転事故及び輸送障害の発生状況について、運転事故の発生はなく、輸送障害については設備車両等の故障は横ばい、台風等の影響による自然災害による輸送障害が増加したため、総数としては前年より2件増加となりました。

## 6. 安全対策実施状況

項目	施行箇所
<b>【線路施設】</b> 落石等防護設備 レールの重軌条化 線路設備	防護網新設 沢入～原向間 防護柵新設        " 運動公園～大間々間50N化（160m） 神戸～沢入間50N化（340m） PC・並マクラギ交換 2,141本 並及び橋マクラギ交換 1,035本 道床交換 本宿～水沼間 1箇所 ゲージタイ設置 38本
<b>【車両の更新】</b> 新車1両	わ89形を廃車しWKT形を導入
<b>【保安設備】</b> 自動閉そく装置更新 踏切保安設備更新 通信線	足尾駅構内ハット 耐雷トランス設置 11箇所 ケーブル交換工事

<神戸～沢入間レールの重軌条化工事>



## 7. 安全報告書へのご意見に対する連絡先

安全報告書へのご意見、ご感想をお寄せください。

群馬県みどり市大間々町大間々1603-1

わたらせ渓谷鐵道株式会社

TEL:0277-73-2110/FAX:0277-73-3121

URL <http://www.watetsu.com/>E-mail: [watetsu@sunfield.ne.jp](mailto:watetsu@sunfield.ne.jp)